

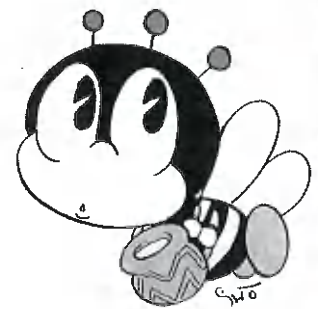
生涯学習情報

平成 30 年度

生涯学習諸学級のあゆみ

～ 学びが人を育てるまち 笠岡 ～

第 33 集



令和元年 6 月

笠岡市教育委員会
生涯学習課

はじめに

成熟社会や人口減少社会時代の到来によって社会のみならず、家族・家庭の形態も多様化しています。そして、人と人との関わり合いが希薄化したことによって、地域の教育力、あるいは家庭教育力の一層の向上が叫ばれる時代でもあります。

こうした背景を受けて、笠岡市教育委員会では、「人間尊重を基調に生きる力を身につけた心豊かな人づくり」を基本理念として教育行政を推進してまいります。また、そのための基本方針を「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」、「心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進」、「創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用」、「豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上」の4項目とし、教育行政を長期的な展望に立って総合的に推進しているところでございます。

こうした中で諸学級事業は、学級長を中心に活動の計画を立て実施されており、地域教育、家庭教育、時には学校教育の中でも大きな役割を果たしているものと考えます。年代を越えた学級活動の中で、前向きな課題を設定し、研究・実践・発表等の活動を通して学んでいく姿は、若きに学び老いに学ぶ大切な場でもあります。また、家庭や地域での活力となり、子どもたちの学びの手本になると考えます。

この「諸学級のあゆみ」は、皆様の貴重な体験等の集大成でございます。これからも多くの皆様が参加され、生涯学習の原動力となるよう、さらにより良い学習の場を提供できるよう努力してまいります。そして、ひとりでも多くの方が生涯にわたって安心して住み、心豊かに、生きがいに満ちた人生を送ることができる、「学びが人を育てるまち笠岡」の実現に努めてまいります。

笠 岡 市 教 育 委 員 会
教 育 長 岡 田 達 也

生涯学習諸学級開設要項

No. 1

	幼 児 学 級	女 性 学 級
趣 旨	幼児教育の必要性が叫ばれ、教育情報が氾濫している中で、自分のものとしていかに取捨選択するかが課題で、3歳児健康診断などから幼児期の実態を確認し、望ましい幼児教育をすすめる。	激動する現代社会に対処するため、女性自身の要求によって組織的・継続的な学習を行い、女性の一般教養、家庭生活の向上を目指し、市民意識・社会連帯意識の涵養（かんよう）を図る。
開設期間	H30. 4. 1～H31. 3. 31	
年間回数時間	概ね 7回・14時間以上	
学 習 内 容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ○保健 ○言語・知的発達 ○社会・家庭環境 ○身近な人権問題 ○読書活動 ○身体の運動能力の発達 ○生活習慣の自立 ○社会性の発達 ○集会活動 ○他活動との交流活動 ○その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○家計・衣食住の管理 ○家族関係及び家族の健康管理 ○人権尊重を基盤とした人権教育 ○職業にかかわる知識・技能 ○女性の地位向上 ○生活周期 ○家庭生活 ○政治・経済 ○その他
対 象	幼児（満6歳未満）を保育する者	女性
人 数	概ね 15名以上	
学 習 内 容	講義・討議・実習実技・見学・視聴覚教材利用・その他（具体的に記入）	
運 営 組 織	学級運営委員会（学級長、副級長、書記、会計、運営委員）を置き、地区の公民館、担当保健師、愛育委員、生涯学習課等とも連絡をとり自主的に行う。	
予 算	笠岡市より補助金を支出する。他に学級生から会費を徴収して学習することが望ましい。	

生涯学習諸学級開設要項

No.2

	成人学級	チャレンジ学級
趣 旨	地域社会を構成する中心的な成人は、先人からの文化の伝承を正しく地域で生かし、次の世代に伝える役割を持っている。また、複雑に変容する現代社会の要求に答えていくことも大切である。そのため集団的・継続的に学習を行う。	地域の施設等を利用して、野外活動等、普段の生活では体験できないような活動を学級生自ら計画・立案し、チャレンジ精神をもって挑戦していく。
開設期間	H30. 4. 1～H31. 3. 31	
年間回数時間	概ね 7回・14時間以上	
学習内容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の特性を生かす役割 ○青少年の健全育成 ○地域行事の伝承と創造 ○地域行政の理解と参加 ○人権尊重の地域づくり ○情報化社会と生活 ○その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の歴史・文化・芸能 ○地域や家庭の教育的課題・趣味・教養 ○民芸品・伝承的遊びの用具製作 ○スポーツ・キャンプ・野外活動 ○子ども会等のレクリエーション ○共同して野菜・草花・果樹等の育成 ○その他
対 象	成人	青少年・成人・高齢者等
人 数	概ね 15名以上	
学習方法	講義・討議・実習実技・見学・視聴覚教材利用・その他（具体的に記入）	
運営組織	学級運営委員会（学級長、副級長、書記、会計、運営委員）を置き、地区の公民館、担当保健師、愛育委員、生涯学習課等とも連絡をとり自主的に行う。	
予 算	笠岡市より補助金を支出する。他に学級生から会費を徴収して学習することが望ましい。	

生涯学習諸学級開設要項

No.3

高 齢 者 学 級	
趣 旨	積極的な生きがいを求めるとともに、高齢者から次の世代の者へ「生活伝承」をし、世代間の交流を図ることによって生活の潤いや社会連帯感を醸成する。
開設期間	H30. 4. 1～H31. 3. 31
年間回数時間	概ね 7回・14時間以上
学習内容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者と幼児・小学生との交流教室（凧、竹馬、こま、わら細工作り 等） ○高齢者と婦人・若い世代等との交流学习 ○交通安全教室 ○郷土料理 ○健康管理 ○人権教育 ○政治・経済 ○その他
対 象	65歳以上の高齢者
人 数	概ね 15名以上
学習方法	講義・討議・実習実技・見学・視聴覚教材利用・その他（具体的に記入）
運営組織	学級運営委員会（学級長、副級長、書記、会計、運営委員）を置き、地区の公民館、担当保健師、愛育委員、生涯学習課等とも連絡をとり自主的に行う。
予 算	笠岡市より補助金を支出する。他に学級生から会費を徴収して学習することが望ましい。

表題 親子でのんびり、ほんわか子育てを楽しもう！（笑顔いっぱい☆元気いっぱい）

金浦幼児学級 学級長 清水 美幸

1 年間の学習のめあて

めあて	親子の触れあいを大切にしながら、親同士・子供同士の交流を楽しむ。
-----	----------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	リトミック	今年度、初めてのつくし会。新しく入会された方がほとんどで少し緊張して始まったが、一緒に手遊びや踊りなどをするうちに親子とも笑顔で活動する姿が見られた。リトミックもたくさんの遊びを取り入れてくださりあっという間に時間が過ぎた。おやつタイムで自己紹介もでき、楽しく話をしながら過ごすことができた。	1.5
2	英語で遊ぼう！	初めての活動だったので親子共に楽しみにしていた。知っている曲に合わせて手遊びをしたり、踊ったりして遊んだ。英語の絵本にも触れることができ、親子共に素敵な時間を過ごせた。4～7月の誕生会も行い、お祝いされたりしたりと嬉しそうだった。	1.5
3	消防署ってどんなところ？	普段、体験できにくい消防車・救急車内の見学に興味津々で触ったり乗ったりと楽しい体験ができた。放水体験では消防服に着替えてなりきって放水する子どももいて貴重な体験ができた。保護者も隊員の方にいろいろ質問して充実した活動となった。	1.5
4	ミニハロウィンパーティー	雨天予報のため、公園遊びから変更して活動した。親子で手遊びや踊りをしたり、ハロウィンのお面を作ったりした。簡単な制作だったが1歳児には少し難しいようだった。しかし、できあがったお面をかぶって嬉しそうにする姿も見られた。おやつは仮装した役員からもらい、少し早いハロウィンごっこを楽しんだ。	1.5
5	クリスマス会	若竹保育園の先生の出し物は、踊りやパネルシアター・ハンドベルなど盛りだくさんで親子で触れあいながら楽しめた。サンタさんの登場には驚く子どももいたが嬉しそうにプレゼントをもらっていた。その後のおやつタイムでは、親子同士がのんびりする姿が見られ、交流が深まっていることを感じた。	1.5
6	お別れ会	今年度の活動写真を使ってアルバム作りをした。たくさんの写真を見て成長を喜んだり、活動を振り返ったりしながら素敵なアルバムができた。ゆっくり作ることができるように子供たちはおもちゃで遊べるスペースを用意しておいた。おやつタイムでは、一人ひとりの感想を聞いた後、今後もつながりを大切にしよう！と会を締めくくった。	1.5

3 本年度の反省または次年度への課題

親子で一年間元気に笑顔いっぱい楽しく活動することができた。今年度は0・1歳児が多く室内での活動が多くなったが、子供の年齢に応じて戸外での活動（公園遊びや散歩・イチゴ狩りなど）も取り入れていけたらいいなと思った。来年度も役員さんが楽しみながら会を進めていってくれたらと思う。
--

表題 元気いっぱい, 笑顔いっぱい

北川幼児学級 学級長 都城 江里

1 年間の学習のめあて

めあて	様々な活動を通じて子ども同士, 母親同士, 地域の方々との交流を深め, 育児を楽しむ。支援していく。
-----	--

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	運動会 (競技参加)	小学校の運動会に参加した。一般参加や悲眼院の子どもたちと一緒に運動会を楽しむことができた。	10分
2	地域との交流 (敬老会への参加)	地区の敬老会で「テントウ虫のサンバ」に合わせて, マラカスを振り踊りを披露した。小さい子ばかりでテントウ虫の衣装を着てかわいく踊ることができ, 参加者にお菓子を配るとかわいい子どもたちの姿にとっても喜んでもらった。	1
3	英語リズム	歌やダンス, 絵本などで体を動かしたり, 目で見たりして, 楽しく英語にふれあうことができた。	2
4	リトミック	ピアノに合わせて歩いたり, 走ったり, 座ったり親子でふれあいながら体を動かすことができて良かった。	2
5			
6			

3 本年度の反省または次年度への課題

本年度は夏に水害があったり, 体調を崩す子どもたちが重なり, 2回ほど予定中止となることがあったが, 子どもたちも親も一緒に活動できるこの幼児学級をこれからも続けていって欲しい。

1 年間の学習のめあて

めあて	親子で触れ合い、楽しみながら、子ども同士親同士、地域の人達の交流を深める
-----	--------------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	3B 体操	新しい友達や幼稚園児の参加もあり、賑やかな集いになった。親子でしっかりとスキンシップを図りながら楽しんだ。お母さん達の運動不足解消にも良い機会になった。	2
2	リトミックあそび	大熊先生を講師にお迎えし、音楽に合わせて走ったり踊ったりして楽しく体を動かした。幼稚園児の参加も多く、賑やかな集いになった。	2
3	遠足	安全面に十分配慮しながら、子ども達は戸外でのびのび遊ぶことができて良かった。親子で有意義な時間を過ごすことができた。	2
4	クリスマス会	講師の高原先生がクリスマスソングなどを弾いて下さり、とても楽しい雰囲気の中で、ケーキをデコレーションして、子ども達もとても喜んでいました。	2
5	人形劇	ねずみの嫁入りを見て、皆お話に引き込まれていた。その後はアンパンマンマーチに合わせて体を動かしたり、親子でしっかりと触れ合うことができた。	2
6			

3 本年度の反省または次年度への課題

親子でしっかりと触れ合いながら、楽しい時間を過ごすことができた。

1 年間の学習のめあて

めあて	元気で地域へのつながりを広げようという意気込みでスタートした。 仲間づくりはもちろん、自分が元気でなくてはと合言葉のごとくめあてとして学習する。
-----	---

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	おやつ作り (豆腐だんご ミニお好み焼き)	○豆腐だんごをもち粉・白玉粉等を使って作る。団子を豆腐を入れて作る。栄養価も高まると思うし口あたりも良かった。種類は絹ごしが良かった。絞り方にも注意した。 ○季節の野菜を入れて作った。ツナ、とろ汁ケースも良かった。	2.0
2	郷土料理を知ろう (清麻呂おはぎ)	○清麻呂おはぎは、和気地方の伝統料理として親しまれている。アルミホイルを少し湿らせて広げてもち米を敷いて、のり巻き状にする。ラップから離して一口大に切り、青のり、きな粉、ゆかりをまぶして出来上がり。	3.0
3	悪質商法についての学習	○全国的に多い事例や岡山県下に多い事例、笠岡市の事例を聞いた。びっくりする様な事例が多かった。 ○電話の断り方やクーリングオフについて学んだ。	1.5
4	健康料理講習	○低栄養についてや、カルシウムの多い食事について学んだ。 (フレイル—身体的にも精神的にもひ弱となり人との交流も減っていく状態。要介護になる一歩手前のこと) ○体操も取り入れて行った。	3.0
5	暮らしの中で すぐできる体操講習	○日常の生活の中でちょっとしたはずみでとんでもない事になる事例が多いと聞く。そのためにも、いつでもできる体操を習った。 ○認知症予防対策についても学ぶことができて良かった。	1.5
6	タオル・ハンカチ アレンジ教室	○普通のハンドタオルを3枚と大花3つと小花を使って、花束に仕上げていく。タオルをクルクル巻いてゴムを止めて周囲を小花で囲んで花束にまとめる。難しかったけれど、よい出来ばえで嬉しかった。	1.5

3 本年度の反省または次年度への課題

毎年同じようなテーマ(学習)になってしまうけれど、だんだんと自分達で学ぼうとする意欲に参加の意欲が向いていることが良かった。知りえた知識を地域の中という「ねらい」に沿ったみたいで嬉しい。次年度に向けて頑張ろうと学級生はやる気満々であった。

1 年間の学習のめあて

めあて	会員同士の親睦を深める
-----	-------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	アートフラワー教室	自分一人ではなかなか出来ませんが、皆で学習することによって隣同士のコミュニケーションもうまくいき、親睦を深めると同時にスムーズに済ますことが出来た。出来上がったときの楽しさがなんとも言えない。	2
2	親睦旅行（高知）	久しぶりに瀬戸大橋を渡り大歩危、小歩危を通り水の美しさを楽しんだ。日曜朝市を歩き、西島園芸団地を見学、羊中すいかメロン栽培にびっくりした。楽しんで帰ることが出来た。	9.5
3	文化の伝承 盆踊り	浴衣を身につけ盆踊りをした。小さい子ども達が大人の輪に入って上手に踊っているのを見て、立派に引き継がれているのだと安心した。	1
4	廃油を使った手作り 石ケン	毎年作っているが、本当によくおちるので感心している。今では殆ど市販の石ケンを買う事が無い。とても好評ですぐ無くなってしまう。	45分
5	島めぐりツアー （真鍋島）	お天気も良く海上タクシーで出発した。波も無く、とても綺麗だった。現役の木造校舎を見学しホルトの木を見学し、晴々とした気持ちでまたタクシーで伏越港に帰った。	6
6	干支作り	一人分のセットを購入し、後は担当の人が消耗品テープ等を取り揃えて準備して当日説明してみんな作成した。楽しみの1つである。来年を願って！！	2.5

3 本年度の反省または次年度への課題

費用が少ない学習がしたいけど、なかなかむずかしい。

表題 日常を飾り、暮らしを豊かに実りある人生づくりを

金浦女性学級 学級長 樋之津倫子

1 年間の学習のめあて

めあて	みんなが集い、笑顔で語り、創作と学習で暮らしを豊かにしよう。
-----	--------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	バナナ餅	身近な材料で簡単なお菓子作りに取り組んでいる。時にはおじいちゃんも参加しての楽しいひと時となるが、今回は、果物を使ってのお菓子作りをした。バナナをレンジで柔らかくし、つぶして片栗粉と混ぜ、バターで焼くというもの。孫と一緒に作れると喜ばれ、お菓子の中でも意外性を感じ、人気だった。	2
2	ハーバリウム教室	最近話題のハーバリウムとは？知らない人も多く、久々に22人と参加人数も多く、用意された材料から統一感のあるイメージを膨らませ、瓶容器の中にドライフラワー、アートフラワーをピンセットで納め、オイルを流し込んで作った。瓶の中に材料を形よく納めるのが困難だったが、独自性があり、高級感が人目を惹いた。	2
3	スタンドグラス教室	一度はしてみたい魅力を感じさせるスタンドグラスは中々身近とは言いがたいものだが、鉢植えにさすちょとした飾りを、材料を選んでハンダ付けしてつなげた。こてでハンダ棒から適量を取って素材をつなぐのが困難で失敗の連続だった。苦勞の多い分出来上がった作品に愛着が感じられた。	2
4	干支の押絵『亥』教室	キットを仕上げるので、だれもが同じ作品作りとなるが、わしを扱うのは中々大変なところがあり、木工ボンドを使っての手作業は小さなパーツやシール貼りに神経を使った。年間計画で干支の12支をそろえる楽しみもあり、毎年人気の教室である。	2
5	ポーセラーツ教室	7月豪雨の影響で延期になってしまったが、1月に実施した。器選びに始まり、自分のイメージに合わせて貼るシールを選び、配置やデザインを考えながら、水分や空気の入らぬよう丁寧に貼っていくのが神経を使った。出来上がりもきれいだが、実用的なので、日々楽しめ、初心者の方にも喜ばれた。	2
6	サツマイモの塩カラメル	時期的にも手に入りやすいサツマイモのお菓子を作った。おじいちゃんも参加し、家でも手軽にできると喜ばれた。乱切りし、水にさらした芋をレンジで柔らかくし、フライパンにバター、砂糖で香ばしく焼き、塩をかけて出来上がり。本当に手軽で簡単美味しいお菓子作りとなった。	2

3 本年度の反省または次年度への課題

教室参加人数にばらつきがあり、世代間の志向の違いを感じた。魅力ある教室作りに取り組みたい。

1 年間の学習のめあて

めあて	仲間とふれあい、笑顔で心豊かな健康生活を目指す学習に取り組む。
-----	---------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	健康づくり 《ウォーク》	春の海辺をゆっくりとウォーキング。 ラジオ体操と簡単なストレッチで準備運動した。 満開のさくらを楽しんだ。	2
2	健康づくり 《グランドゴルフ》	ヘルス体操で準備運動。 体力づくりと仲間づくりで日々の生活に潤いを養う。 勝敗にこだわらず楽しんだ。	2
3	健康づくり 《盆踊りを楽しむ》	納涼祭に参加した。 盆踊りを通じて地域の人々と交流した。 音頭に合わせて踊り、若いも若きもふるさとの盆踊りを 楽しんだ。	3
4	作品づくり 《作品作り》	文化祭に向けて作品づくり、そして、展示発表した。 不要になったネクタイを使ってポシエットを作った。 再利用でも、かわいい物が出来上がった。	10
5	健康づくり 《調理実習》	調理実習を楽しんだ。 春にヨモギを摘み冷凍にしていたのを使って団子づくり。 できあがりをお茶うけにして談笑した。	3
6	仲間づくり 《カルタ会》	昔の遊び、新春カルタで楽しんだ。 姫と坊主めぐりはとても楽しく笑いがこぼれた。 新年の抱負や、夢を語った。 お茶を頂き会話が弾んだ。	2

3 本年度の反省または次年度への課題

続ける楽しさを持ちながら。支え合って頑張ろう。

表題 スマイル気MAMA会女性学級の実践内容

スマイル気MAMA会女性学級 学級長 山下 由香

1 年間の学習のめあて

めあて	様々な体験や見学等を通じ、日々の生活や子育てを豊かにする
-----	------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	ソフトバレーを楽しもう	○ソフトバレーの体験、スポーツを通じて交流を深めた。 ○ソフトバレー初体験の人も多い中、とても楽しく出来た。 試合ではチームで協力し、声を掛け合い白熱したものとなった。	2
2	ハーバリウムを作ろう	○ハーバリウムの作り方を習い実践した。 ○交流を深めながらハーバリウムを製作した。 ○個性豊かな出来上がりになった。 美しい花に心を癒やされ充実した時間となった。	2
3	給食センター見学会	○給食センターの見学で、ビデオにて詳しく説明を見る。 ○給食の試食をした。 ○衛生的に給食が作られていく様子を見学した。(アレルギー対応等)細かい対応に驚いた。懸命に働く職員の姿を子どもにも伝え、給食を残さないよう、家庭でも指導していきたい。	3
4	お茶を楽しもう	○お茶について学んだ。 ○お茶の種類について説明を聞き、それぞれにあった温度など入れ方を教えてもらった。お抹茶の家庭での楽しみ方を聞き、実践。身近なお茶についてたくさん学ぶことができた。	2
5	パーソナルカラー診断	○色について学んだ後、一人一人のパーソナルカラーを診断した。 ○好きな色と自分に合う色が違ったり、新たな発見もあり、とても勉強になった。 ○みんなで話し合ったり、意見を聞く事で、親睦も深まった。	4
6	春のアクセサリーを作ろう	○神島Apple Bakeryにてアクセサリー作り&ランチ会を行った。 ○アクセサリーのワークショップ、先生と相談しながらパーツを選び作製した。前回のパーソナルカラー診断で学んだ事を生かし、自分に合う色で春アクセサリーを作ることが出来た。	4

3 本年度の反省または次年度への課題

<p>今年度は様々な年代の方がメンバーとして参加して下さり、年代を超えた交流も出来てとても良かったと思う。来年度も今年度同様、メンバーの交流はもちろん、色々な体験をみんなで楽しく活動していきたいと思う。現在30~40代が中心だが、その他の年代の方にも多く参加してもらえたい。 (今年度は20代~60代の方と活動しました。)</p>

表題 陶山女性学級の実践内容

陶山女性学級 学級長 森岡 聡子

1 年間の学習のめあて

めあて	地域との交流を深め、楽しもう
-----	----------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	地域の盆踊り(水替踊り)を子どもたちへ継承	毎年地区の運動会で小学生と全体が最後に一緒になって踊る盆踊りで、水替おどりを子どもたちに教えた。私達は忘れてしまっている部分もあるが、子どもたちはすぐに覚えてくれて、楽しく過ごす事が出来た。地元の盆踊りを長く継承できたら良いと思う。	1
2	地域の運動会に参加	前日より女性学級はテント張りの準備に行く。子どもの数は少ないが、当日は小学生たちは目標を作り頑張っていた。私達は障害を持った方たちとボールけりの競技にでた。	競技 0.5 見学 3.5
3	総会・研修	決算・事業報告の後に、研修として笠岡市環境課の森山課長をお呼びしてごみ分別や処理方法・ごみ排出量の現状などの説明を聞いた。ごみについての色々を学習し、私達もすぐに実践しなくてはとみんなで話し合った。	講義 1.5 話し 合い 0.5
4	青少年健全育成の一端として、差別意識について学ぶ	笠岡市教育委員会の先生に依頼し、すべての子どもの生活の安全と情緒の安定を図り、よりよい社会を作り、互いに多様性を認め・支えあう社会について勉強した。個々人を尊重し、明るく笑顔で暮らせるようにしなくてはいけない。その後、焼肉のたれとゴキブリ団子を作った。	学習 1.5 タレ 作り 2.5
5	地区敬老会に参加	敬老会でダンスを発表するにあたり、内容の話し合い・練習を重ねた。4日間の練習で結果として上手にできたと思う。踊っている人の中に敬老会に参加の人もいるが、楽しそうに踊っていた。頭の体操になるし、私達も見習わなくてはと思った。	4
6	地区文化祭に参加	毎年、来年の干支を押絵で作る。また、自分の好きな題材などで作る人もいた。出来上がりはとても可愛らしくきれいにできた。みんなで冗談を言いながら楽しく作業し、細かい作業をするので手先や頭の運動になってよいと思う。	5

3 本年度の反省または次年度への課題

高齢化が進んでいるが、皆さんの協力があり事業がスムーズに進むことが出来た。また来年度も頑張りたいと思う。
--

表題 女性として輝ける人になろう

若葉女性学級 学級長 奥野ひろみ

1 年間の学習のめあて

めあて	子育てから少し手が離れたからこそ、女性として輝いていける人間になろう
-----	------------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	苔玉づくり	最近はやっている盆栽について学んだあと、手軽にできる苔玉を作った。しっかり丸めないといけないと聞き、泥団子作りの気分で楽しく作ることができた。おしゃれな皿の上に置くことで見栄えが良くなった。	2
2	パン工場見学	いつも購入しているパンがどのように作られているのかを見たいと思い工場見学に行った。夏休みだったので子供たちと一緒にパンづくりにも参加させてもらった。	4
3	おいしいお茶の入れ方	普段飲んでいるお茶も温度を変えたり、お茶の量を変えることで味に甘みが出たり風味が変わったりすることを学んだ。がぶがぶ飲むだけでなくいっばいのお茶を味わうゆとりも学んだ。	2
4	健康ストレッチ	整体師の先生に教わるストレッチ教室は毎回大好評。手を上にあげるだけでも少しの負荷をかけるだけで筋力アップにつながったり肩こり防止にもなると聞き、毎日続ける大切さも実感した。	2
5	味噌作り	毎年恒例の味噌作り。だんだんカビを生やすことなく最後までおいしく食べれるようになったという人が多くなった。今年は塩麴ならぬ寒麴を教えてもらい、料理にバリエーションができた。	5
6	美しい言葉とは	普段使う言葉も表情を変えるだけで印象がかなり変わることを教えてもらった。また自己紹介の仕方や自然な笑顔の作り方なども学び、少しでも実践できるように心がけようと感じた。	2

3 本年度の反省または次年度への課題

<p>普段の言葉つかい、ストレッチなどちょっとしたことで印象が変わることを学んだ一年だった。次年度も継続して仕草など気を付けながら輝ける女性を意識して生活していきたい。</p>
--

1 年間の学習のめあて

めあて	高齢者社会で地域に住む仲間を作り、ともに楽しみ・学び・心豊かに生きる
-----	------------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	出前講座を受ける (看護教室) 神の峰に登る	笠岡市民病院看護部長より在宅介護について色々わからない事を聞いた。会員の中に介護しておられる人がおり、とても良い事を聞いたので色々勉強になったと喜んでた。 昼から、陶山地区の名山 神の峰に登った。	講義 1.5 登山 2.5
2	昔ながらの手作りお はぎ作り (お彼岸に備えて)	もち米7・うるち米3の割合で炊き、すりこぎで少しだけ潰し丸めた中に餡子を入れて包み、きなこを振る。 日本に昔からある先祖をしのぶという彼岸の意味を、孫たちにも伝え、家でも作ってみようと思った。	2.5
3	小学校の学芸会見学	陶山小学校の学芸会を見学した。子どもの数は少ないが、見事な演技であった。先生方の苦勞が目に見え、子どもたちの一生懸命さが良く表れていた。自分のことをしっかりアピールし、先生と生徒の繋がりが良くできていると感じた。	2
4	地域の文化祭に参加	公民館講座生の作品や地域の人の力作が展示される文化祭。高齢者学級では、作品の見学と出店するために前日よりおでん・赤飯の準備をした。「作る」ということで、みんなとの輪が出来、また頭の体操になると思う。参加された方にはおいしいと言われ、嬉しく思った。	見学 1 実技 3
5	笠岡特産品イチゴで イチゴ大福を作る	陶山でイチゴ作りをする会員さん夫婦にRSKテレビよりイチゴ作りとそれを使ったお菓子作りの撮影依頼があり、お菓子作りを高齢者学級が担当し大福作りにチャレンジした。大福作りは初めての挑戦であったが、とてもきれいで美味しいものができた。	2
6	生涯学習に参加	当日早朝より、フェスティバルで販売する陶山特産品の草だんご・赤飯を作った。草団子に使ったよもぎは、去年みんなを取り冷凍したものを使い、赤飯は会員さんが作ったささげを使った。とても柔らかく、おいしく、すぐに完売した。会場・舞台発表も、中学生・高校生の発表が心に残った。	実技 3 見学 3

3 本年度の反省または次年度への課題

皆さん楽しんで自主的に参加しているので、これからも活動を続けていける事を希望する。

表題 歴史・文化を楽しく学び、健康で元気に探訪と調査、少し視点を広げて浅口との交流。

大島成人学級大島郷土史クラブ 学級長 黒住孝士郎

1 年間の学習のめあて

めあて	年間テーマ①大島の小字地名再現と地名由来 ②御嶽三十三観音霊場のレジタル化
-----	---------------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	第1回大島の小字地名の再現と地名由来	明治20年の大島村役場作成の切り図を市教育委員会で閲覧頂きそのすべてをカメラに納め(約600枚)アナログデータをデジタルデータにし、その一部100枚をスライドで説明した。方角や縮尺がすべてバラバラでありデータは膨大な資料となった。今後の進め方を打ち合わせした。	3
2	第2回大島の小字地名の再現と地名由来	再現中の大島中地区のスライド発表をした。正頭地区の切り図7枚を参考に南北の方角、縮尺、面積等の調整、そしてどの位置にあたるか、その場所への挿入を具体的に実施説明した。パソコンのプロでないと到底できない仕事である。また昔の切り図をみてそれがどの場所か知ってないといけない。	3.5
3	第3回大島の小字地名の再現と地名由来	大島公民館祭り、生涯学習フェスティバルに向けて地名の再現の完成に向けて最終コーナーの準備をした。来期は地名由来、再来年は現在との対比3か年計画として進めることを決めた。素晴らしい貴重な資料が出来上がっている。	2.5
4	第1回第2回御嶽三十三観音霊場の調査と探訪	2日間の2回に分けて調査、探訪した。第1回目は御嶽山頂上から傳米山を下りて岡南堂までの逆回りコース。第2回目は頂上から権現道をくだり石砂地区へのコース。他地区ではほとんど忘れ去られたようだが、1814年に完成したこの観音霊場は今も多くの方が訪れる貴重な歴史資産である。	6
5	<交流会> 「足利義昭の頼幕府の足跡」バスツアー 講師 林富士夫氏	今回は浅口、里庄、大島のコラボ、計36名の出席、大島からは11名の出席した。 小松寺、常国寺、頼城跡、歴史資料館、大津野義昭館跡、田辺寺等探訪。それぞれの歴史クラブと親しく懇談、楽しく勉強できた。	8
6	<講演会> 「藤井皓玄神辺城落城からの逃亡、行方」 講師 藤井茂氏	年1回の大島の皆様、近隣の皆様を聴講者とする講演会を行った。今回は昨年浅口での講演「皓玄と神辺城 毛利のと合戦」の後編。聴講者41名 半数が浅口、里庄、笠岡市内が占め地元大島が少なく残念。	2

3 本年度の反省または次年度への課題

「大島の小字地名の再現と地名由来」の調査と研究を3か年計画で完成することが目標。初年度はフェスティバルにて小林市長の目に留まり高い評価と激励を頂く。

表題 地域のおやじ役割創出と、青少年健全育成を図る

大島おやじの会成人学級 学級長 桜井章雄

1 年間の学習のめあて

めあて	おやじ相互の交流を中心に子供時代から累代で活動する。
-----	----------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	ひまわりの種まき	東北震災支援のひまわりプロジェクトに連動した、ひまわりの種を校庭の畑にまく作業を行った。	2
2	田植え	大島小学校5年生と田植え実習のお手伝いをした。安全管理に留意しながら楽しく実施終了。	2.5
3	納涼祭りにおいて中学生と「大島の傘踊り」をおどる。	公民館主催の納涼のゆうべにおいて、小中学生と一緒に大島の傘踊りをおどった。	1
4	ホタルの幼虫放流	ホタルの幼虫を大島小学校2年生と放流し、環境学習を実施した。	1
5	ハゼ釣り大会 クリーン作戦	ハゼ釣り大会を通して、自然観察や釣り場の清掃を行った。美化意識を考え、地域の家族のつながりを促進したい。	3
6	小学生 クリスマス会	クリスマス会を主催した。子供が喜ぶ企画を考えた結果、等身大紙相撲大会を行った。親子で作図した相撲で競技し、参加者は皆、終始楽しそうだった。	5

3 本年度の反省または次年度への課題

来年度も、子供たちが喜んでもらえるような企画を考えていきたい。

表題 わがふるさと北川をもっと知ろう。

北川成人学級 学級長 森山上志

1 年間の学習のめあて

めあて	「北川の用水の歴史」資料集を作成し、北川の民俗を調べる。
-----	------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	本年度の研修テーマ ・「北川の用水の歴史」資料集を作成。 ・北川の民俗を調べる計画。 (5.29)	○「北川の用水の歴史」資料集の原稿を検討した結果を聞き、自分の担当原稿の問題点をつかんだ。 ○新しい研修テーマである「北川の民俗」について、何を調べるのか見通しを持った。	2
2	「北川の用水の歴史」資料集の作成 (7.23, 8.30)	○「北川の用水の歴史」資料集を手作りした。 ・形態→A3版 115枚 加除式ファイル 70冊作成 ・原稿(印刷物)を二つ折り、ファイルポケットに入れる *7月豪雨より床上浸水した会員は欠席	5
3	北川の民俗一年中行事一から着手 (9.28)	○民俗調べは領域が広いので年中行事を調べることから取りかかった。 ・上井立支部の会員が調べた「年中行事」の報告を聞き、これをモデルとして自分の居住地区を調べる手がかりとする。	2
4	地区外研修 ・吉備路の探訪 (11.14)	○吉備路の史跡や文化財の探訪した。 ・造山古墳の史跡(石棺・城址など) ・こうもり塚の石室(石室の広さ・浪形石の石棺など) ・国分尼寺跡の探索(伽藍配置図・礎石など) ・総社吉備路文化館の見学	3
5	三笠博通画伯の出前講座「笠岡百景」 北川の年間行事 (1.18)	○三笠画伯の油彩画(笠岡市内のかつての建物や景観)により保存されるべき建物・景観が消滅していることを知った。 ○自分の居住地区の年間行事を発表した。 ・小倉皿出地区・下井立地区・正源寺地区	2
6	史跡探訪・健康ウォーキング (2.17)	○第10回北川三世交流史跡探訪した。健康ウォーキングを実施した。(北川公民館と共催事業) ・甲弩の「とと道」ウォーク ・「とと道」沿線の史跡探訪 ・参加者69人(うち主催者19人)	3

3 本年度の反省または次年度への課題

北川の民俗一失われつつある昭和の暮らし(氏神様の祭礼・人の死の儀式)一を調べ記録に残す。

表題 健康な地域づくり

千ノ浜成人学級 学級長 馬越 初也

1 年間の学習のめあて

めあて	地域の人々との絆を深め、健康で明るく住みよい生活を目指す学習に努める。
-----	-------------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	環境美化 《地区内清掃》	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の道路や溝掃除、空き地の草取り作業を行った。 ・空き缶・空き瓶拾いを行った。 ・花壇の整美作業と植え替え作業を行った。 	3
2	健康づくり 《グランドゴルフ》	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチで準備運動をした。 ・楽しみに笑顔で集まり、仲間と競技を楽しんだ。 ・ホールインワンが出ると喜んだ。 	3
3	地域との交流 《秋まつり》	<ul style="list-style-type: none"> ・春日神社境内の清掃を行った。祭典準備の協力をした。 ・年々参加者が、減りつつある。 ・ふるさとの伝統文化を受け継ぐ努力が反省された。 	5
4	文化活動 《作品づくり》	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館文化祭への作品出展した。 ・フラワーアレンジメントを仕上げた。 ・秋の花々を個性豊かに表現し展示発表した。 	6
5	地域との交流 《ウォーキング》	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けない体力づくりを行った。 ・無理のないように自分の体力に合わせて頑張った。 ・防災意識を高めた。 	4
6	健康づくり 《バランスの良い食事》	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防食献立づくりをした。 ・食物繊維たっぷり、地産地消の旬の野菜を使って作った。 ・バランスの良い食事を楽しくいただいた。 	3

3 本年度の反省または次年度への課題

地域行事に参加して、仲間と色々なことにチャレンジしよう。

表題 「今井元気づくり」の橋渡し役を願う

今井を訪ね・語ろう会成人学級

学級長 小寺 主

1 年間の学習のめあて

めあて	先人より学び伝える。
-----	------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	今井地区古生代地層の岩石調査 (ア)	定金司郎先生をお招きして春の花薫る期に、今立・本谷・園井地区の岩石調査散策をした。今立地区は真砂土で粗粒花崗岩、一方、園井地区は硬く粘土質の玄武岩質凝灰岩から出来ていることが分かった。その際、「エヒメアヤメ」自生地の話があり、とあるお庭にアヤメのような花を見つけ、近づいてみると、なんと「エヒメアヤメ」だった。	3
2	今井地区古生代地層の岩石調査 (イ)	今立・園井地区を中心とした山裾を巡り、古生代、中生代の泥岩・玄武岩質・凝灰岩の分布、形成状況を定金司郎先生に案内していただいた。崖・地層などの現地観察を地図に図表示することによって郷土の岩石の成り立ち等に興味を注がれた。農作業・環境保全の点からも見聞を広めて行きたい。	3
3	笠岡ミニ霊場について	8月25日、金浦歴史研究会北村卓士氏を講師として笠岡近郷のミニ霊場について受講した。市内には各地に霊場があり、神島八十八ヶ所は最も有名で、1744年、今田慧弦が身近に四国遍路を望む方の為に建立したという。地元の貴重な歴史遺産と魅力を後世に大事に保存し传承していくことの大切さを学んだ。	2
4	元禄13年馬飼村検地水帳の世界	本年度、主テーマは馬飼村検地水帳の読み解きである。検地順路に沿って読み解き、現在との地名・文化遺産とのすり合わせを行う中、今日も語られている地名の存在、信仰心の深さに感動した。先人の皆様によって作られた郷土を知り、そして語り伝えて、ふるさとに誇りを、今以上持っていたきたいと感じた。	6
5	今井文化祭と笠岡市生涯学習フェスティバル出展参加	成人学級として学び・伝えることを主目的としている当会は、本年度も活動内容を発表する場を頂けた。全員参加の展示物制作は楽しく作業はできたが、年を重ねた現象を確認する場ともなった。当展示物の前での、多くの皆様との語らいは、出会いと新たな発見の場である。来年度も楽しみである。	18
6	第8回今井講演会	恒例となったが、今年は岡山大学名誉教授 倉地克直氏をお招きして開催した。自然災害は当地とは関係ないと言えない今日、演題は「江戸時代の災害から考える」である。倉地先生の熱い語りで先人たちの生き抜くための仕組み・変遷、そして笠岡地震関連の古文書を学ばせていただくことができた。感謝である。	2

3 本年度の反省または次年度への課題

先人による営みの学びは、新たな発見との出会いである。元気の素として継続して活動したい。

表題 大井地区の文化遺産を掘り起こそう

大井文化探訪の会学級

学級長 東馬場省吾

1 年間の学習のめあて

めあて	大井地区の歴史民族遺産を調査・記録し後世に伝えていく。
-----	-----------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	新年度総会 (30:4:16)	活動報告及び会計報告し、あわせて新年度活動計画の審議を行った。	2
2	小平井地区現地調査 (30:5:21)	会員16名車三台に分乗して文化財の確認をする。広範囲だったので地区内3分の1は残し後日再調査することになった。車での調査だったが、かえって見落としが生じた。やはり歩きが原則だと感じた。	3
3	天神社工頌徳碑の読解 (30:11:19)	東大戸天神社・安部環・藤井清影宮司の頌徳碑の読解は刻字が風化していて難儀した。 助言者提供の「興讓館山下館長の遺稿集」が大いに役立った。	2
4	出前講座講演会 (30:12:9)	演題 「大井地区における古代遺跡について」 鍛冶屋遺跡と鉄塊遺跡 講師 市教育委員会生涯学習課主幹 安東康宏氏 古代から鉄鉱石を元に製鉄がこの地で行われていたことに驚いた。一体鉄鉱石をどこで産出していたのか。 (井原・芳井・美星あたりに鉱山があったという情報アリ)	2
5	講演会の反省 天神社招魂碑の解読 (30:12:17)	地区内への宣伝不足で講演会は28名の参加した。 日露戦役の招魂碑の解読は刻字がはっきりしていて全文解読できた。	2
6	専用分の解読 (31:2:18)	各神社注連縄柱の専用分の解読した。 全部で四基八本の宣揚文は四字から八字まであり、あまりに簡略すぎて読解に苦勞する。四字のもの一基だけは完全解読できず課題として残る。	3

3 本年度の反省または次年度への課題

地区内の文化遺産のあり場所の確認ができた。次年度は解読に力を入れたい。

1 年間の学習のめあて

めあて	活動を通して、子供たちの健全育成と親子の交流で地域内の活性化をはかる
-----	------------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	ひまわり栽培	東日本復興支援の一環として、毎年ひまわりを栽培している。取れた種を福島へ送り、油などの製品になっている。子どもたちには、良い経験となった。	1.5
2	納涼祭に参加	地区の納涼祭に参加。売店で販売を体験した。今年も地域の人たちに見守られながら出店できた。	3.5
3	交流試合	金光スポーツ少年団と交流試合を行った。他のチームと交流でき貴重な体験ができた。	3
4	ボーリング大会	親子ボーリング大会を開催した。初めて参加した子供たちは、熱心に講師の説明を聞き、楽しく参加できた。あちらこちらから歓声があがり、親子でふれあうことができた。	3
5	公民館まつりに参加	カレー、フランクフルト、たこ焼き、飲み物を販売した。途中ごはんが炊けてなかったりとハプニングがあったが、完売できてよかった。	6
6	お別れ旅行	香川へ親子親睦旅行へ行った。なかのうどん学校でうどん作りを体験し、レオマワールドで親子でふれあうことができ、よい経験になった。	9.5

3 本年度の反省または次年度への課題

①ソフトテニス活動 ②ボランティア活動 ③親睦行事 を軸に活動することができた。次年度も努力していきたい。

楽しく学んだ実践活動

表題 地域の人と触れ合いながら、楽しく学び、いろいろな事にチャレンジしよう

笠岡東チャレンジ学級 学級長 二階堂 昇司

1 年間の学習のめあて

めあて	地域の人との触れ合いを大事にし、野外活動、生活を体験し、学び、チャレンジしていく。
-----	---

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	スポーツ活動	大人対子どもで、ソフトボールの対戦をし、試合のおもしろさや喜び、大変な所を親子で体験した。OBやOGも招待し、ソフトボールを通して交流を深めた。	7
2	野外活動	テント生活を体験し、親同士、子ども同士の交流を深めた。上級生・下級生関係なく、交流を楽しみ、協力し合うことができた。	26
3	文化祭	文化祭に参加し、地域の色々な世代の人たちと交流を図った。親子で焼きそば、フロート・ミニパフェなどの模擬店を出し、店番や商品の受け渡し等の手伝いをした。模擬店を出す為の準備、メニュー決めなどの変な事を学び、協力し合っ て交流を楽しんだ。	8
4	地域活動	笠岡東公民館のグラウンドと県道脇の溝のゴミを拾った。日頃使用させてもらっている東公民館に感謝をこめて、清掃活動を4回行った。キレイになると達成感があり、子どもたちが満足そうであった。	1.5
5			
6			

3 本年度の反省または次年度への課題

地域の親同士、友達同士の交流を深めるよい機会となった。色々な活動をする中で、ルールを学び、守ることを覚え、相手のことを考え、行動すること、協力し合う事の大切さを学んだ。次年度もいろいろな活動をする中で、色々な体験ができるよう考えていきたい。

1 年間の学習のめあて

めあて	楽しみながら、共に学び教養を深め自ら向上し心豊かな地域作りに努める
-----	-----------------------------------

2 実施した学習プログラム

回	学習テーマ	学習内容・方法・感想等	時間
1	樹脂ねんど 講師 田中寄江	子どもの創造性と、仲間と協力し譲り合う心を育てる目的で臨んだ。道具の譲り合い、年下への配慮等、良い体験ができた。	2
2	ポーセラーツ 講師 高橋直美	毎年大勢の子供が参加してくれる。親子参加もふえてきた。お皿選び、シール選びと子供たちはわくわくしながら作品を完成させた。	1.5
3	英語でハロウィン 講師 山河知子	ハロウィンにちなんだ単語を勉強し、それを使ったゲーム、工作等をして楽しんだ。英語を身近に感じる事ができた。	1
4	しめ縄作り 講師 原田行雄	しめ縄をなうという伝統を継承したく講座を開いている。お正月飾り、神棚飾りなど完成させた。	1.5
5	もちつき 助言者 仁科静江	たくさんの子供の参加があった。家ではなかなかできなくなった体験なので、これからも続けていきたい。	2
6	シフォンケーキ作り	シフォンケーキ作りのポイント、細かな時間配分を指導してもらい、ふんわりしたケーキが出来上がった。	2

3 本年度の反省または次年度への課題

地域の伝統を残し伝えながら、幅広い年代の人が挑戦できるような魅力ある課題に挑戦したい。

学は一生の大事

しょう まな すなわ そう な あ
少にして学べば、即ち壮にして為すこと有り。

そう まな すなわ お おとろ
壮にして学べば、即ち老いて衰えず。

お まな すなわ し く
老いて学べば、即ち死して朽ちず。

少而学。即壮而有為。壮而学。即老而不衰。老而学。即死而不朽。

《訳文》 少年の時学んでおけば、壮年になってそれが役立ち、何事か為すことができる。
壮年の時学んでおけば、老年になっても気力の衰えることがない。
老年になっても学んでいれば、見識も高くなり、より多く社会に貢献できるから
死んでもその名の朽ちることはない。 (佐藤 一斎著 「言志晩録」から)

編集後記

『生涯学習のあゆみ』も第33集の発刊となりました。このあゆみに掲載している学習だけでも、皆様方で350時間以上もの学習に励んでいます。

学ぶ内容が多様化するなかで、「地域・郷土」と「人と人とのつながり」がこの生涯学習諸学級には欠かせないキーワードとなっているようです。この取組によって、学習者が自発的に学ぶ環境の一助となれば、学習の深まりや地域への還元、地域づくりに貢献できると感じています。

これからも各学級と共に様々な活動の中で学び合い、響き合って、まちづくりを進めていけるよう努力したいと考えています。

生涯学習課担当者一同